



資料

博物館・美術館の 現状と課題について

神奈川県生涯学習審議会
博物館検討部会

1 視察概要

日時	場所	出席委員	内容
令和7年10月28日(火) 15:00~17:00	神奈川県立 歴史博物館	浜野 達也 委員 平井 宏典 委員	館内視察 意見交換
令和7年10月29日(水) 14:00~16:30	神奈川県立 生命の星・ 地球博物館	浜野 達也 委員 舟田 彰 委員	館内視察 意見交換
令和7年11月7日(金) 13:30~16:00	神奈川県立 金沢文庫	後藤 梢 委員 浜野 達也 委員 舟田 彰 委員	館内視察 意見交換
令和7年11月18日(火) 13:30~16:00	神奈川県立 近代美術館 (葉山館)	伊藤 真木子 委員 浜野 達也 委員	館内視察 意見交換

2 視察の様子



県立歴史博物館



県立生命の星・地球博物館



県立金沢文庫



県立近代美術館（葉山館）

3 博物館・美術館の現状



施設・設備面

収蔵スペースの狭隘化
施設・設備の老朽化



組織・人材面

人員の不足



機能面

展示の魅力向上
学習機会の充実など

様々な課題が存在するが・・・



**「社会教育施設の魅力の向上」を検討し県教育委員会へ提言する上で、
審議会では機能面に関する議論をすることが、最も効果的！**

4 機能面の検討① 館内活動の充実

行ってみたい！と思える施設にするには・・・

人を惹きつけ、探求心を育む展示

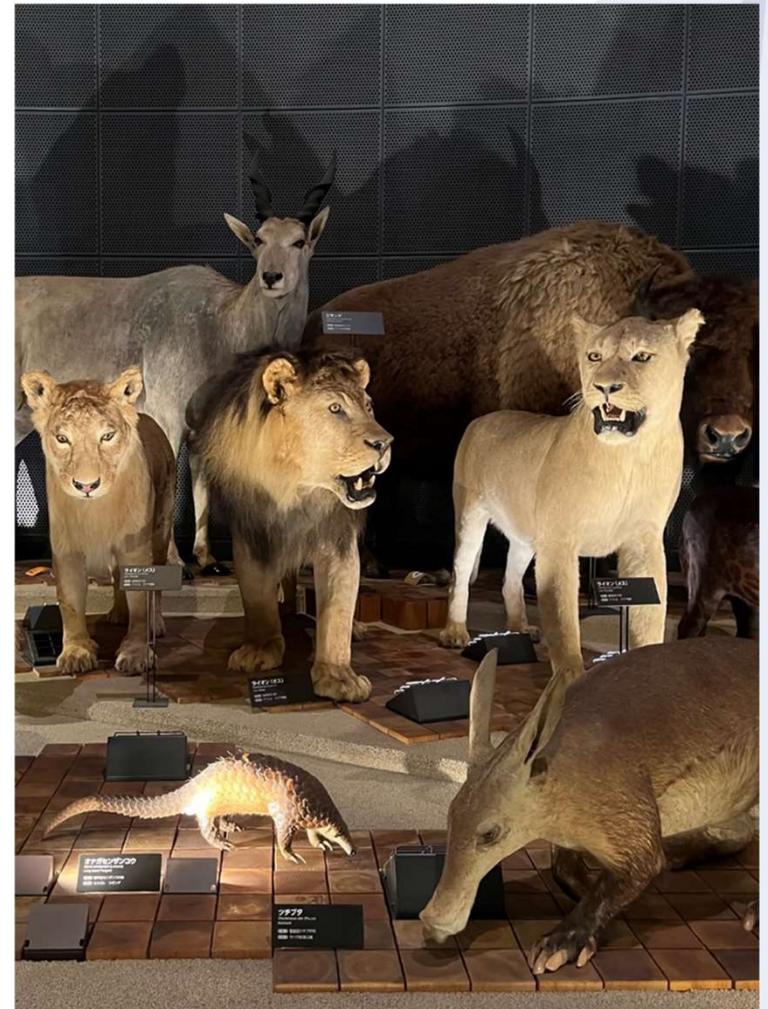
実物資料の最大限の活用、インクルーシブな展示
デジタル技術を活用した楽しく分かりやすい展示
来館者が自主的に学ぶことのできる展示

👉 展示内容を工夫し、アップデートを図る

主体的な学習を支える講座・イベント

体験型ワークショップの開催
ボランティア・サークル団体への活動支援

👉 様々な層を巻き込む仕掛けづくり



5 機能面の検討② 館外活動の充実

来館を待つだけではなく「知ってもらおう」には・・・

多様な機関との連携

学校や社会教育施設、民間団体との幅広い連携

👉 出張講座、図書資料などの有効活用、教育機会の
拡充

オンラインを活用した学習支援

デジタルアーカイブ資料の活用・デジタル教材の開発

👉 デジタル技術の活用（遠隔地にも届く）

活動内容の発信

SNSや動画配信を活用した積極的な広報活動や外部資金の調達（クラウドファンディング）

様々な活動を正しく評価する指標の構築と周知

👉 折角の取組も知られなければ・・・



6 まとめ（部会としての整理）

行ってみたいと思える施設、様々な学習機会を提供できる施設、そして持続可能な運営ができる施設を目指すために

- ① 来てもらうためには
 - ▶ デジタル技術の活用など、**楽しく分かりやすい展示**
 - ▶ 参加体験型のイベントなど、**主体的な学びを支援**
- ② 学習機会の提供の充実を図るには
 - ▶ **来館しなくても学習できる機会**の提供（オンラインの活用）
 - ▶ 教育機関・民間団体との**連携強化**（収蔵資料の活用・出張講座の実施など）
- ③ 知ってもらい、活動を正しく評価するためには
 - ▶ 他力（企業や口コミ）も活用した**広報力の強化、外部資金調達**（応援してもらえる仲間づくり）
 - ▶ 様々な活動を**正しく評価する仕組み（指標）**の構築

①～③を総合的に検討していくことが必要！